

カーボンニュートラル宣言

当社は2050年にカーボンニュートラルを実現することを宣言します。

当社の経営理念の1つ「地球環境に配慮し、内外の地域社会との共生を図り、豊かで調和のとれた社会創りに貢献」に則り、自社で排出するCO₂(Scope1+2)の削減に取り組みます。

また、サプライチェーン全体でのGHG排出量削減と共に、カーボンクレジットを産み出す又はCO₂の固定化を可能とするサービスの提供や商品への代替など、全てのステークホルダーとの協働でカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを実施してまいります。



Scope1、Scope2のCO₂排出量削減目標

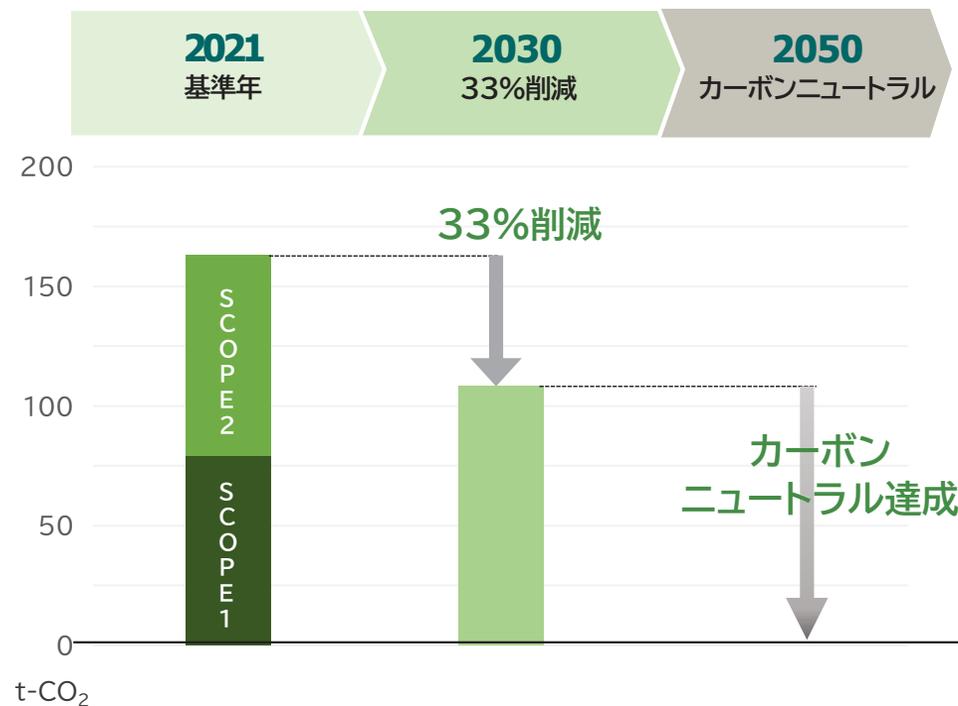
2050年に
カーボンニュートラルを目指す

2030年に
2021年比 33%削減を目指す

オフィス及び社用車利用に係るCO₂排出量に対し、業務の合理化・効率化による削減は勿論のこと、再生可能エネルギー由来の電力への切替やHV、EV化を進める等施策を進め2030年までに2021年度比33%削減、2050年までに実質ゼロとすることを目指します。

- ※ 削減対象は当社国内組織
- ※ SBT基準と同等の年間4.2%の排出量削減
- ※ 2021年度排出量 163t-CO₂ (Scope1、2合計)

CO₂排出量削減イメージ図



サプライチェーン全体でのGHG排出量削減に向けた取り組み

森林認証材や植林木を活用した環境配慮型の木材製品「こことわeco」や炭素の貯蔵庫である木構造建築「サミットHR工法」、太陽光パネルや蓄電池といった省・創・蓄エネソリューション等CO₂削減に効果のある商材販売を通して、また将来的にはお取引先様・関係先様と共に森林運営やカーボンクレジット創出等により一層の成長とサプライチェーン全体での脱炭素社会の実現に貢献したいと考えています。



こことわeco (合板、集成材)



心地よい暮らしと未来へ貢献する
コーポレートブランド「こことわ」

年間販売量※に係る炭素貯蔵相当量

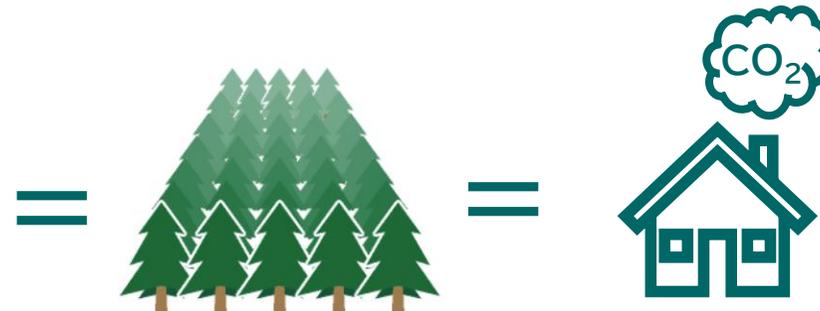
13,000t-co₂ ※ 2022年度販売実績

サミットHR工法 (中・大規模木造建築)



年間施工実績※に係る炭素貯蔵及び削減相当量

4,400t-co₂ ※ 2018~2022年度の年間平均施工実績



スギ林約11ha分の
CO₂蓄積量に相当

約1,100世帯分の
年間CO₂排出量に相当

※ 一世帯あたりのCO₂排出量は年間約4tで算定

太陽光パネル



年間販売量※に係る炭素削減相当量

975t-co₂ ※ 2022年度販売実績